令和８年９月　教育委員提案

部活動の地域展開について

戸田市教育委員会
教　育　政　策　室

部活動の地域展開に関する国の方針

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ（令和7年5月16日）について

改革の理念等

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実
- 地域クラブ活動においては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出
- 質の担保等の観点から、国が地域クラブ活動の定義・要件等を示し、地方公共団体が認定を行う仕組みを構築
- 改革の理念等をより的確に表すため、「地域移行」という名称は、「地域展開」に変更。

次期改革期間

令和５年度～７年度「改革推進期間」 → 令和８年度～10年度「改革実行期間」（前期） ／ 令和11年度～13年度「改革実行期間」（後期）

休日

改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す

平日

各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進（まずは、国において実現可能な活動の在り方等を検証）

費用負担の在り方

- 地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、受益者負担と公的負担とのバランス等を検討
- 公的負担については国・都道府県・市区町村で支え合うことが重要。国において受益者負担の目安等を示す
- 経済的困窮世帯の生徒への支援は確実に措置。部活動指導員の配置についても一定の範囲で支援

各論

運営団体等の体制整備や指導者確保をはじめとする８項目の個別課題について、具体的な対応策を提示

部活動の地域展開とは？なぜ改革が必要なのか？

部活動
（学校が主体）



●**少子化**により学校の規模が小さくなる中、
１つの学校単位では**チームスポーツなどが十分に実施できない**

●学校における**働き方改革**の必要性が高まる中、
学校の教師のみに頼る指導体制は維持できない

【戸田市の状況】
- 生徒数の推移予測
  R8：3,636人　⇒　R17：3,039人
- 運動部所属生徒数の割合
  H26：72.6%　⇒　R8：58.2%
- 新人戦に合同チームで出場した部活動がある学校
  R7：6校中4校（野球、サッカー、ソフトボール）

地域クラブ
（地域が主体）



○**将来にわたって生徒が継続的にスポーツに親しむ**機会の確保・充実

○障害のある生徒を含め、生徒が**希望に応じて多種多様な活動に参加**できる環境を整備

○部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、**新たな価値**を創出

戸田市においては
令和９年８月で「休日の部活動」を終了し、
９月から休日は「地域クラブ」として活動

令和９年９月以降の
休日の部活動地域展開について

①令和９年度　9月以降（休日）の運営体制
②地域展開する種目の拠点数
③統括コーディネーター団体によるモニタリング体制

令和９年度　9月以降（休日）の運営体制

戸 田 市 教 育 委 員 会

設置

認定

支援
巡回指導

統括コーディネーター団体

管理・運営
巡回指導

自主運営型 地域クラブ

○○クラブ　・・・・・　○○クラブ

○市の定める認定要件のもと、自主的に運営できる地域クラブ
（緊急連絡、金銭管理、保険加入等）

※活動の周知、活動場所や指導者の斡旋、
財政支援などの一定の支援を予定

直営型 地域クラブ

○○クラブ　○○クラブ　…　○○クラブ

○市が設置した統括コーディネーター団体が直接管理・運営を行う地域クラブ

※生徒が希望する種目の団体がない場合などに設置を検討

戸田市認定地域クラブ

地域展開する種目の拠点数

※参加者数・認定クラブ数などにより、拠点数は変動する

※現在、市内中学校で休日に活動している部活動の種目（運動部活動17種目＋吹奏楽）については、生徒の活動機会確保のため、最低限、クラブの立ち上げを行う。

想定拠点数	地域展開を想定している種目
3拠点で実施 10種目×3 ＝30拠点	**サッカー**　ソフトテニス（女子）　**バスケ（男子）**　**バスケ（女子）** **バレー（男子）**　**バレー（女子）**　バドミントン（女子）　**剣道** 卓球（男子）　卓球（女子）  A（西地区）　 B（中央地区）　 C（東地区）
2拠点で実施 2種目×２ ＝４拠点	**野球**　ソフトテニス（男子）  A（西側）　 B（東側）
1拠点で実施 4種目×１ ＝4拠点	ハンドボール　**陸上**　バドミントン（男子）　ボート　ソフトボール  市内全域から参加生徒を募集（例：ボートクラブ⇒戸田中）
拠点数について検討中	吹奏楽 ※合同で活動する場合の楽器の移動や保管場所、練習場所の確保などについて、顧問や関係団体等と調整を行っており、その内容を踏まえて決定する

赤字：自主運営クラブの立ち上げが想定されるクラブ

統括コーディネーター団体によるモニタリング体制

直営クラブは月に2回、
自主運営クラブは月に1回の
巡視を想定。

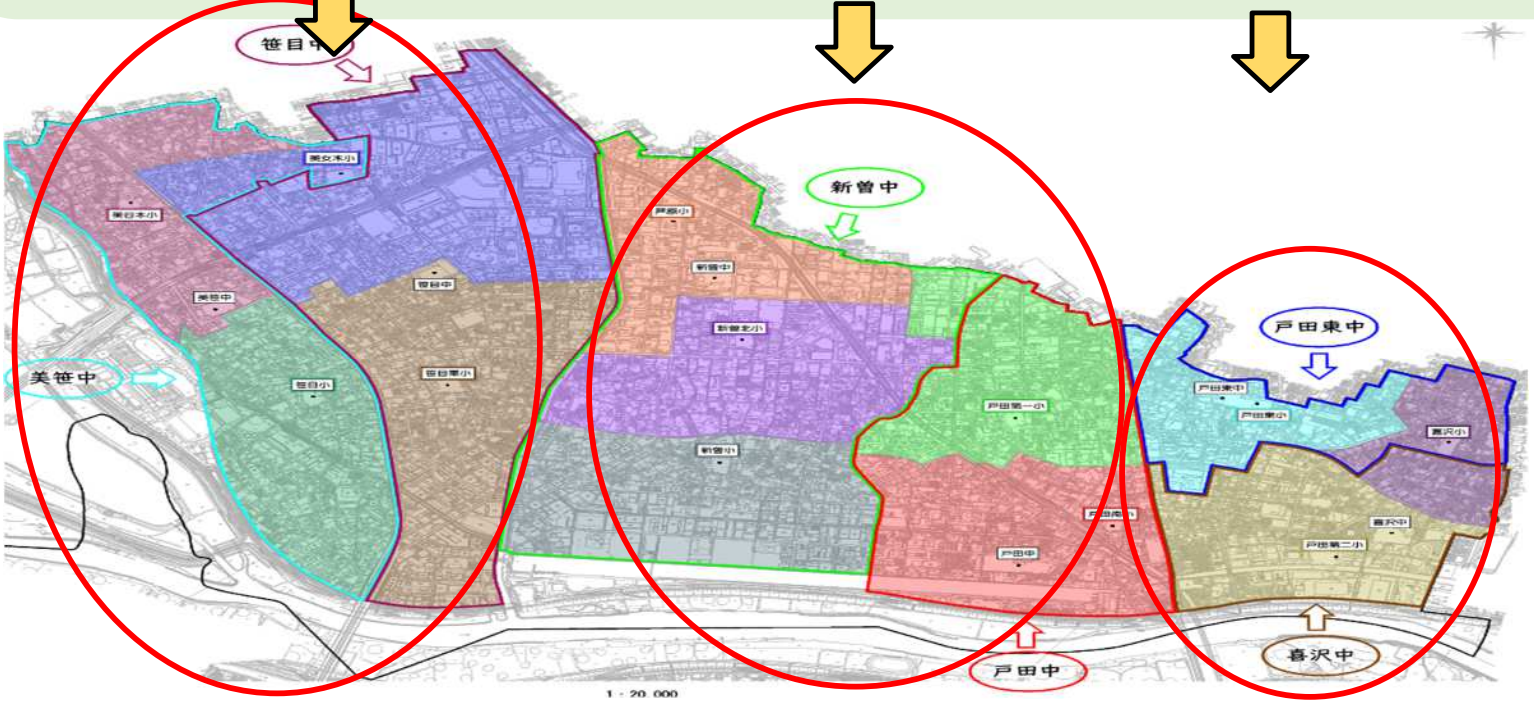
統括コーディネーター
（全体統括）

全体管理
マネジメント

地区コーディネーター
（西地区）

地区コーディネーター
（中央地区）

地区コーディネーター
（東地区）



統括コーディネーターの業務

○業務の全体計画作成・管理
○実績報告書の確認
○収入管理業務（未納分を含む）
○管理アプリ調達、保険加入、必要物品購入
○市への報告
○学校との情報連携
○緊急時当日対応、苦情対応など保護者対応
○地区コーディネーターの管理
等

地区コーディネーターの業務

○市との連絡調整
○学校との連絡調整
○毎月の活動計画の作成、提出
○試合等への参加にかかる調整
○活動中止の判断
○事故やけがへの対応及び報告
○保護者への連絡調整
○指導状況確認
○使用する学校施設及び物品に関する調整、管理
○指導者の管理監督
・指導者への指導、資質向上
・指導者間の情報交換、共通理解の形成
・指導者の勤怠管理
・指導者の急な欠員補充対応
等

令和８年度の実証事業について

①令和８年度　休日地域クラブ実証事業の運営体制
②ボートクラブ、陸上クラブの様子について

令和８年度　休日地域クラブ実証事業の運営体制

戸田市教育委員会

認定
指導助言等

委託

株式会社
オークスベストフィットネス

支援

管理・運営

陸上クラブ

○市の定める認定要件のもと、
自主的に運営できる地域クラブ

NPO法人
ワールドスポーツファミリー

ボートクラブ

○市が設置した統括ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ団体が直接管理・運営を行う地域クラブ

株式会社オークス
ベストフィットネス

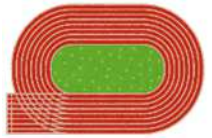
戸田市認定地域クラブ

部活動

○**外部人材の積極的活用**
・部活動指導員
・部活動ボランティア
・部活動サポート事業　など

◎**校区を越えた部活動の試行**
・地域クラブとの合同練習
・合同部活動　など

民間等のスポーツ・
文化芸術活動

クラブ	 戸田ボートクラブ（仮称）	戸田陸上クラブ（仮称） 
参加対象	○休日にボートをやりたい市内中学１～３年生 ・学校に関係なく参加できます ・ボート部に所属していなくても参加できます	○休日に陸上競技をやりたい市内中学１～３年生 ・学校に関係なく参加できます ・陸上部に所属していなくても参加できます
主な活動拠点	戸田ボートコース または戸田中学校 被服室 	戸田市スポーツセンター 陸上競技場　他 
期間回数時間	令和8年**6月**～令和9年3月 休日のうち月３～４回程度 原則、土曜日の11:00～14:00 ※曜日や時間は時期によって変更あり	令和8年**9月**～令和9年3月 休日のうち月**２～３回**程度 原則、土曜日の9:00～11:00 ※曜日や時間は時期によって変更あり
参加費用	**年間保険料800円** ※大会参加費等は必要に応じて別途徴収	**年間保険料800円** ※今後の状況により施設利用料等が発生する場合は、必要に応じ別途徴収
実施主体	株式会社 オークスベストフィットネス OAKS BEST FITNESS	NPO法人 ワールドスポーツファミリー World Sports Family
指導者	オークスベストフィットネスに所属する ボートの専門指導ができる指導者（３名程度） **※兼職兼業を希望する先生や部活動指導員がいる場合は、一緒に指導します**	ワールドスポーツファミリーに所属する 陸上競技の専門指導ができる指導者（５～７名程度）

ボートクラブの活動の様子　　（６月６日　初回活動日）









ボートクラブ　参加者の感想

Q ほかの学校や部活動から参加してみて、どうでしたか？

・最初は緊張したが、全身を使った正しい漕ぎ方を新たに知って楽しかった。

（ほかの学校から参加した生徒）



・先輩やコーチからいろいろアドバイスをもらって、最初よりうまく漕げるようになった気がする。

（戸田中学校でボート部以外に所属している生徒）

Q 今回、どのようなきっかけで参加されましたか？

・小学生の時に、市主催の親子ボート体験教室に参加したことがあった。今回、学校で配布されたリーフレットでボートクラブのことを知り、よいきっかけだと思い、参加を決めた。ボートは戸田市だからこその活動なので、このような機会があることはうれしい。低価格で専門的な指導をしてもらえることも魅力だと感じる。

陸上クラブの活動スケジュール

スポーツセンターの許可を得て、7:00～9:00で利用
- **暑さ対策**
- **専有利用**
- **用具が使用可能**

令和８年度　全20回

実施場所：戸田市スポーツセンター
陸上競技場　他

8月　1日(土) 合同部活動として実施	11月　3日(火祝) 21日(土) 28日(土)	2月　13日(土) 20日(土) 27日(土)
9月　12日(土) 21日(月祝)	12月　12日(土) 19日(土) 26日(土)	3月　13日(土) 22日(月祝)
10月　3日(土) 17日(土) 31日(土)	1月　9日(土) 23日(土) 30日(土)	

8月1日（土）　合同部活動について

◯目的

　9月からの合同地域クラブの前に、校区を越えて一緒に練習する経験をすることで、生徒や顧問の先生に地域展開後のイメージをもってもらい、成果と課題を探りつつ、参加者の心理的ハードルを下げる。

◯指導者

- ワールドスポーツファミリー
  小肥さん、松田さん
- 顧問の先生方
- 部活動指導員

◯参加者

- 陸上部の生徒　106名



8月1日（土）　合同部活動の様子



【参加した生徒の感想】
- 本格的な指導が受けられてためになった
- いつもと違う環境で新鮮だった
- 違う学校の人と仲良くなれた











今後に向けて

①今後のスケジュールについて
②今後の課題について

戸田市中学校における部活動の地域展開に係るスケジュール（予定）

	令和８年度	令和９年度
前期	４月　リーフレット配信（R8地域クラブ実証事業について） ４月　実証事業開始に向けた説明会（管理職・顧問対象） ５月　実証事業開始に向けた説明会（保護者対象） ５月　各部活動 専門委員長とのヒアリング開始 ６月　R8地域クラブ実証事業開始（直営型　ボートクラブ） ６月　関係団体とのヒアリング開始	○説明会等の実施 ・学校向け説明会 ・保護者・生徒向け説明会 ・認定地域団体向け説明会・研修会 ○（見学会、体験会の実施） ○地域クラブ活動参加希望取りまとめ
中期	９月　R8地域クラブ実証事業開始（自主運営型　陸上クラブ） **○地域クラブの認定に関する要綱　策定**　**※このあと説明** **○認定地域クラブ募集開始** ・認定要件の確認（面接、実地調査） ○関係者へ周知 ・広報番組撮影（9月） ・広報とだ10月号に部活動地域展開のページ掲載	**休日の部活動終了（８月）** **休日の地域クラブ開始（9月）**
後期	○説明会の実施 ・学校向け説明会（指導者登録、兼職兼業手続き等の支援等） ・地域団体向け説明会（認定手続き、クラブ立ち上げ支援等） ・保護者・生徒向け説明会 ・小学校懇談会、中学校入学説明会で周知 ○認定地域クラブの調整 ・活動拠点、活動時間の割り振り ・学校施設及び備品利用のルール策定 ○保護者・生徒・教職員へアンケート調査（次年度へ向けて）	○認定地域クラブの活動状況確認【随時】 ○保護者・生徒・教職員へアンケート調査（次年度へ向けて） ・成果と課題の洗い出し ○小学校懇談会、中学校入学説明会で周知（次年度の計画について）

※部活動地域展開の進捗状況については、12月及び3月の定例教育委員会で報告予定

今後の課題について

（１）受益者負担の目安について

・これまでほぼ無料だった部活動と比べると、負担が大きく感じるという意見

・国のガイドラインにおいては、月4回の活動の場合、「月額1,000円～3,000円程度」が持続可能な受益者負担の目安とされている

⇒持続可能性の視点も踏まえ、参加しやすい金額設定について引き続き検討

※P21に保護者アンケート結果を掲載

【参考】近隣自治体の受益者負担額
- 狭山市　月額2,200円
- 白岡市　月額2,500円
- 上尾市　月額3,000円

※自治体の公開資料から、1か月あたりの負担額を試算。

（２）平日部活動と休日地域クラブの連携について

・平日部活動と休日地域クラブで指導者が変わることについての不安があるという意見

・これまでの実証事業においては、連絡アプリ等を使用して情報交換を行っている（スケジュール、出席状況、練習メニューなど）

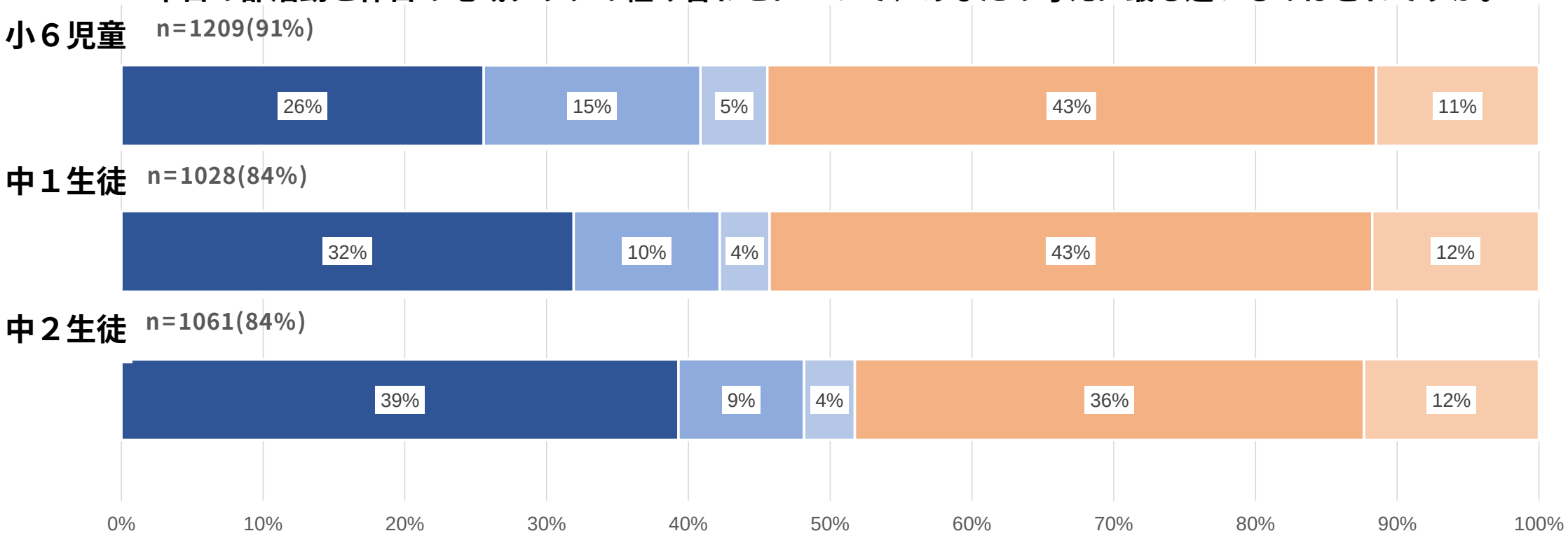
⇒必要な情報交換を行える環境を整備しつつ、練習試合や大会出場の在り方について引き続き検討

【参考資料】
関係者アンケートの結果について

〇調査期間　　令和8年5月1日～5月22日
〇調査対象　　・児童生徒（小６～中２）
　　・保 護 者 （小６～中２）
　　・小・中学校教職員等（事務職員も含む）
〇調査方法　　Google Formsによる回答

（児童生徒）令和9年9月以降の、平日の部活動と休日の地域クラブの組み合わせについて

平日の部活動と休日の地域クラブの組み合わせについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

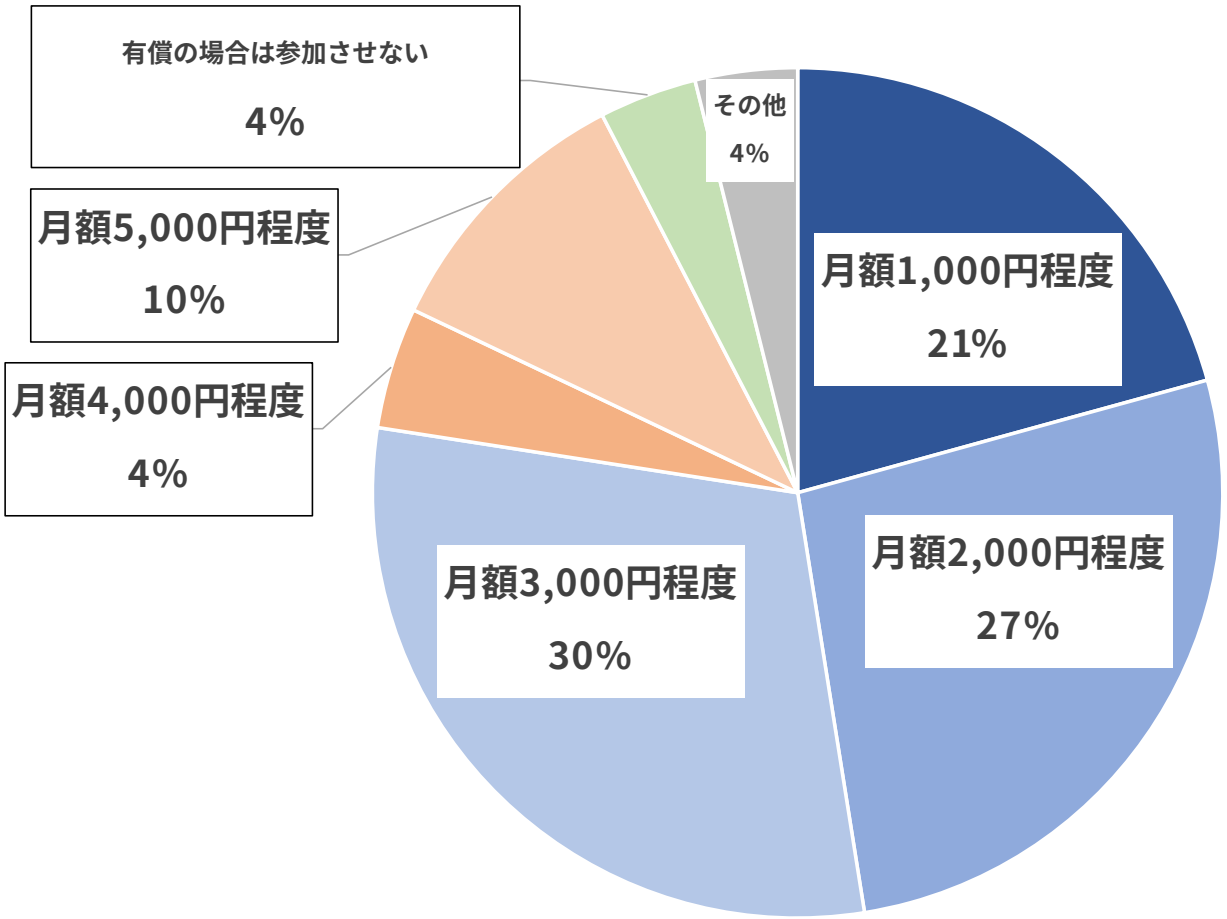


- 平日の部活動と同じ種目を、休日の地域クラブでやりたい（例：平日は野球部、休日も野球クラブ）
- 平日の部活動とは違う種目を、休日の地域クラブでやりたい（例：平日はテニス部、休日はボートクラブ）
- 平日は部活動に参加しないが、休日の地域クラブのみ参加したい（例：休日のみ卓球クラブ）
- 平日は部活動に参加するが、休日の地域クラブは参加しない（例：平日のみサッカー部）
- 平日も部活動に参加せず、休日も地域クラブに参加しない

- 休日に活動したい生徒は、全体の約半数。
  （休日はゆっくりしたい、させたい家庭も多い）
- 下の学年ほど複数種目に取り組みたい割合が多い。
  （１つの種目に縛られないマルチな活動）
- 部活動引退後も休日だけ活動したい3年生への
  活動機会の提供。

（保護者）受益者負担の金額について

月額の参加費がいくらまでなら、休日の地域クラブに参加させたいと思いますか。



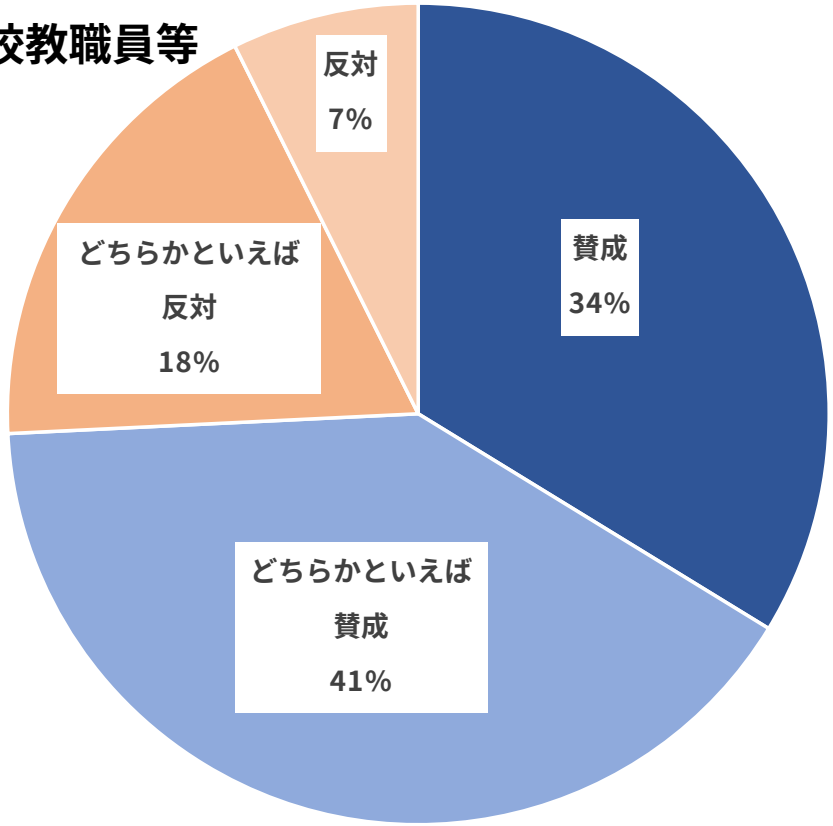
n＝1286(34%)

【その他】の意見から
- 内容が納得できるものであれば負担したい。（専門的な指導が受けられるなど）
- 500円ワンコイン制だと参加しやすい。
- 種目等によって金額は変わるものだと考えている。
- 休日の部活動がなくなる分、部費が減額されるとよい。
- できれば無料がよい。

（中学校教職員等）部活動地域展開への思い

部活動が学校から地域へ展開することについて、どう思いますか。

中学校教職員等



n=163(82%)

【賛成の主な意見】

〇教員にとって部活動の負担が大きい

・顧問の善意に支えられてきた部活動は、もはや持続可能ではなく、若者の教員離れを加速させている。

〇従来の学校の役割を見直し、よりスリム化すべき

・学校本来の目的である授業、学級経営、行事等にエネルギーを傾けられるよう、部活動の地域展開を切に進めてほしい。

〇生徒がこれまでより専門的な指導が受けられる

・地域の方の中にも、専門的な技術をもっていて指導を希望している方も多くいるので、お互い連携し合いながら、良い条件・良い環境を整えていけるとよい。

【反対の主な意見】

〇生徒指導上の問題が多発する恐れがある

・休日に起きた生徒指導の問題を地域クラブで解決してくれるのか。そこができないのであれば、かえって教員にとって負担が増える。

〇教育的意義が高く、ほかの活動では得られない価値がある

・部活動を通して子どもたちの成長を感じられたり、子どもとともに成長できたりする経験は唯一無二のものだと感じている。

【その他の意見】

・地域展開後の具体的なイメージがわからないので、不安がある。